

## 第2回 中国ブロックにおける社会資本整備重点計画 有識者会議 議事録

日時：令和3年5月10日（月）14:00～16:00

場所：広島YMCA国際文化センター2号館4階大会議室

### 【中国ブロックにおける社会資本整備重点計画の策定スケジュールについて】

・意見なし。

### 【中国ブロックにおける社会資本整備重点計画の素案について】

#### ◎作野委員

全国計画においても同様であるが、「時間軸の総力」と記載してあるが、日本語として適切な表現なのか疑問に思う。

3つの中長期的目的に「経済成長」とあるが、他の「安全・安心の確保」や「持続可能な地域社会の形成」に比べて、内容がわかりにくい。目的としての経済成長とはどういったものか。

中長期的な目的にある『真の豊かさ』を実感できる社会を構築する要素の一つが「経済成長」であると思う。この経済成長という表現にどういった経済のあり方を目指すのか修飾語をつけるべきではないか。

#### ○事務局

これらの表現については全国計画との整合もあるが、できる限りわかり易い表現となるよう調整させていただく。

#### ◎作野委員

時間軸の総力については、「総力」とつけるから難しくなると思う。「波状的に」や「断続的に」といった内容であるので主旨には賛成である。

「経済成長」については、国の目的と整合を図った上で、中国地方としての経済成長を是非検討いただきたい。ロングテールに代表されるように小ロットであっても細く長い経済や地域資源を生かした経済が持続可能な経済成長に繋がり、真の豊かさにつながると思う。重点目標4はそういった主旨で記載されているので、そこから逆算するような形でもいいので表現を付け加えてほしい。例えば「新しい時代の経済成長のあり方」など、そういった言葉をつけるだけで変わってくると思う。

#### ◎神田委員

経済成長に関して中国ブロックらしさを出せないか。国全体で考えると東アジアとの近接性等はあると思うが、中国ブロックとしてどうやって成長するかをイメージできるようにしてほしい。インフラに限って言えば、3大都市圏の他ブロックは高速道路整備が進んでいる。中国ブロックでは基盤整備に関する記述が少ないと思う。他地域との地域間競争と協調による成長といった内容が記述できないかと思っている。全国計画との整合もあるので個性が出しにくいと思うが、一極集中分散を感じられる記載を追加していただきたい。

○事務局

経済成長の記載が不足しているのではないかとのご指摘と地域間競争や他地域との協調が良いのではないかとご提案いただいたが、どのような記載にするかは全国計画も考慮しつつ検討していきたい。

◎森山委員

全国計画との整合もあるので、難しいかもしれないが、重点目標6「インフラ分野の脱炭素化・インフラ空間の多面的な利活用による生活の質の向上」について、「インフラ分野の脱炭素化」と「インフラ空間の多面的な利活用」は「生活の質の向上」にかかっているが、経済やその他様々なものに関係してくると思う。エネルギー分野で言えば、道路空間がエネルギー創出の場になってくる。車が走行する風を利用して発電する技術が進んでいる。今後5年でそうした技術が出てくると思うのでそうした記述を追加できないか。

また、これから電気自動車が普及する中で充電場所は民間企業に任せるのか。従来はガソリンのタンクが必要だったが電気自動車の充電場所はそうしたものが不要なため、経営の観点を踏まえてもっと気軽な場所で民間企業が販売できるようになるのではないか。そう考えるとインフラ空間はさらなる活用が考えられる。

今は実現が厳しい部分については、第4章計画を推進するための方策にある「産学官の連携による技術の調査・研究」といったように、将来につながる形で記載しておくといいと思う。エネルギー分野において、日本の企業が国際競争力を持つていくためには、国土交通省の政策がエネルギー分野とリンクした形とすることが必要と思う。

○事務局

「生活の質の向上」の語句については再度検討させていただく。  
今すぐの社会資本整備が難しいものの考え方についても、改めて記載を確認したい。

◎實田委員

DXやインフラメンテナンスは「i-Construction推進計画」に基づいて実施すると記載していただいた。内容はいいと思うが、「i-Construction推進計画」は毎年見直ししているなのでその部分をどこかに記載してはどうか。また、資料8のP14の右の図には「11の取り組み」とあるが、そうした見直しを踏まえて変わってくることもあるので、明記しないほうがいいのではないか。

○事務局

ご指摘のとおり、毎年度継続して取り組んでいくものなので、修正させていただく。

◎富川委員

資料7の素案P54, 55「重点目標4 4-2中国ブロック固有の地域資源を活かした観光振興と地域資源を結ぶネットワークや連携の仕組み作り」に重点施策（案）という表がある。これは小目標全体に反映されるべき内容と思うが、内容が非常に絞られているという印象である。この表を生かすのであれば、まず「広域観光を支える交通ネットワーク整備」を示し、その後「国際交流拠点の機能拡充・強化」が良いのではないかと思う。

語句の使い方について、「訪日外国人旅行者」と「訪日外国人旅行者」、「インバウンド」と「インバウンド観光客」が混在している。また、インバウンドの用語の定義が曖昧となって

いるので、定義を明確にすべきである。ただし、「インバウンド」については日本での使い方が単語の意味と違っているため、国の計画としては留意しておくべきである。

外国人にポイントを絞りすぎている。観光振興という面においても外国人観光客は1割程度であり、ほとんどが日本人である。そのため、インバウンド等は示さず、「観光客」などだけでもいいのではないか。

アクセスの整備をクローズアップして、ネットワークの構築について記載してはどうかと思う。

参考資料には、インフラツーリズムや道の駅での観光、オープンカフェ等の観光施策が挙げられているが、計画書ではみえてこない。もう少し違った視点から記載できないか。

#### ○事務局

本文の重点施策と表の重点施策（案）は双方を対応させながら、対応が不十分なところは確認したい。

用語についてはご指摘を踏まえ、修正させていただく。

その他のご意見についても検討させていただく。

#### ◎坂本委員

資料7の素案P28「重点目標1 1-3ブロック内外における災害発生時のリスクの低減のための危機管理対策・体制の強化」の指標（KPI）等に「最大クラスの洪水」等の表現があるが、これはこのままでよいのか。「想定最大規模の降雨による洪水」であれば理解できる。

コンパクトなまちづくりが生活の質やインフラの分野で出てくるが、防災の分野においても必要な観点であるため、どこかに記載できないか。

#### ◎三浦座長

「最大クラスの洪水」等の表現はよく言われることである。かつて、阪神淡路大震災の際に地震における「L1・L2」の概念が出てきた。東日本大震災の際に津波に対してもL1・L2の考えがでた。そして近年雨の降り方においても、その考えが適用されてきている。これらは「地震」や「津波」、「降雨」に対する最大規模であるため、坂本委員ご指摘のとおりわかりやすく丁寧に解説したほうが良いと思う。

#### ◎氏原委員

「重点目標3 持続可能で暮らしやすい地域社会の実現」について、「地域」という言葉が「中国ブロック」を指していると思うが、小目標や重点施策では都市部に偏っていると感じる。中山間地域の対策と都市部での対策が対になるように示し方を工夫してはどうか。

資料8の小目標3-1のKPIで「航路」が抜粋されているが、唐突な印象があるので抜粋する必要はないと思う。

資料7の素案P41「重点目標3 3-1中国ブロックの持続的な発展を支えるコンパクト+ネットワーク」の重点施策（案）に「コンパクトな集積拠点の形成」とあるが、コンパクトシティは都市域全域をコンパクトにするものであって、集積拠点をコンパクトにするものではないため、「コンパクトな都市の形成」にしてはどうか。

#### ○事務局

ご指摘を踏まえて対応を検討したい。

◎鈴木委員

資料7の素案P23「重点目標1 1-2大規模地震の発生に備えた津波対策や耐震化の推進、災害に強い交通ネットワークの構築」について、「災害に強い交通ネットワークの構築」とあるが、KPI・指標にネットワークの構築に関するものがない。一つの指標で示すのは難しいと思うので、中国ブロックの交通ネットワークの重要性や優先順位について議論する場や計画策定など、ネットワークの充実を示す指標を追加してもらいたい。KPI・指標がないと個別の道路整備を実施して終わりになりかねないので、なにかしらネットワークの充実を示す指標を追加できればと思う。

全体を通してKPI・指標がないものについても同様に追加してもらいたい。

◎三浦座長

非常に重要な意見なので、反映して頂ければと思う。現在の公共工事はそれぞれの事業でB/Cを評価しているが、ネットワークの構築になるとB（ベネフィット）が高まる。これからの公共工事の評価としても議論してもらえればと思う。

○事務局

全国計画ではネットワークに関連する指標があるので、素案の方にどう反映するか検討させていただく。

◎内田委員

坂本委員のご指摘に賛成で、ぜひ「想定最大規模の降雨」として記載していただきたい。また、外水や内水ではそれぞれ計画規模が違うため、想定最大降雨とすることで1つのイベントとして取り扱えるようになる。

関連して流域治水の概念を中国ブロックに落としとした視点が欠けていると思う。国で掲げている流域治水の概念は大河川における流域であるが、中国地方は小さな複数の流域を1つの自治体で管理している場合が多い。そのため、流域治水だけでなく流域間の連携も重要になる。

そして、それをどう事業におとすかが重要になる。

また、「河川計画」や「道路交通計画」、「下水道計画」等の事業計画の実施者が分野間の連携を理解できるように、どう事業におとすかが重要になる。

○事務局

ご指摘を踏まえた対応を検討したい。

◎黒岩委員

資料7の素案P17「重点目標1 1-1気候変動による災害等の激甚化・頻発化に対応する命を守るための事前防災の加速化・深化」の重点施策に「背後地の資産を守るため、砂浜・海岸保全施設を保全・維持する海岸保全対策を推進する。」とあるが、海岸保全が重なっており分かりづらいので、表現を工夫したほうがいい。

また中国ブロックの特徴として直轄海岸を持っているので皆生海岸で実施している事業等を盛り込んでもらえればと思う。例えば台風の通過経路によっては非常に大規模な侵食が発生し、背後地の防砂林や道路の陥没等が発生するため、重点的な取組として記載していただきたい。これは河川改修事業や砂防ダムでの土砂の管理等の総合的な流域対策とも関連があるため、一つの中国ブロックの特徴にもなると思う。

○事務局

語句は修正させていただく。事業については資料7の素案P20「重点目標1 1-1気候変動による災害等の激甚化・頻発化に対応する命を守るための事前防災の加速化・深化」の主要取組に記載させていただいている。資料8は抜粋版なので記載していない。

◎三浦座長

資料7は意見聴取の対象と思うが、資料8も対象になるのか。

○事務局

資料7が意見聴取の対象となる。

◎三浦座長

そうであれば、資料7に必要な事項はすべて記載するとともにわかりにくい表現は修正すること。

◎黒田委員

資料7の素案P34「重点目標2 2-2省人化・遠隔操作化、点検手法の効率化等の新技術」について、表中に「データ利活用によるインフラメンテナンスの高度化・効率化を図るため」とあるが、国土交通プラットフォームに関連付けた施策になるのか。重点目標5にはメンテナンスに関するデータ利活用については記載されていなかったの確認させてほしい。国土交通プラットフォームにもメンテナンスに関する事項を増やしていくことが重要であるため、そういったデータのストック・利活用を進めてもらいたい。

同表中に道路や道路橋に関するKPI・指標が記載されていないが、なにか理由があるのか。道路等についても記載したほうがいい。P32「重点目標2 2-1予防保全による老朽化対策への転換と老朽化構造物の集約化等によるトータルコストの縮減」の指標（KPI）のなかで「予防保全型インフラメンテナンスの転換に向けた施設の修繕率」についても同様である。

P34「重点目標2 2-2省人化・遠隔操作化、点検手法の効率化等の新技術」の重点施策（案）に新技術を活用したインフラメンテナンスの高度化・効率化について記載しており、新技術として性能カタログ等を例示している。国土交通省ではロボット等の新技術の取組が増えている一方で地方公共団体では進んでいない。そのため、性能カタログとともに地方公共団体への技術支援などの導入促進も記載してはどうか。

P20「重点目標1 1-1気候変動による災害等の激甚化・頻発化に対応する命を守るための事前防災の加速化・深化」の指標（KPI）のなかで「避難確保・浸水防止措置を講じた地下街等の数」など、実数で表現しているものがあるが、対象とするものに対する達成割合も合わせて示したほうがわかりやすいのではないかと。

選択と集中について事業名を列挙しているが、重点施策の達成に向けてどういった視点で「選択と集中」を実施するかの具体的な考え方を記載したほうがわかりやすいのではないかと。

○事務局

指標（KPI）について、全国計画では道路等に関する項目が挙がっている。中国ブロックにおいては現在調整中であるため、今後適宜反映していく。

指標の割合の記載方法については、可能かどうか、検討する。

その他のご意見についても検討させていただく。

◎内山委員

資料7の素案P56「重点目標4 4-3官民連携による都市の競争力強化等を推進し地域の経済成長を実現」の重点施策に、官民連携の「包括的な体制構築」でまとめられているが、唐突な印象があり、わかりにくい。PPP/PFI等の推進を通じて民間の資金や経営能力を活用することが地域の経済成長につながると考えており、体制構築も含めた「官民連携の推進」こそが重点施策ではないかと思う。

2つ目は、P63「重点目標5 5-3ICTやAI等を活用したエリア渋滞対策や交通量観測等の交通マネジメント強化」の重点施策にAIを活用した交通マネジメント強化による渋滞対策が記載されているが、例えばAI信号機による緊急車両の円滑な通行や事故の減少など、AIを活用した安全・安心な道路の実現など、社会的な意味合いももたせてはどうか。

3つ目は、道の駅の記載はたくさんあるが、「みなとオアシス」についても記載してはどうか。中国ブロックは沿岸部に多くの観光資源が広がっているが、クルーズ船の寄港対策など、港の開発はまだ十分でないと思う。みなとオアシスをうまく活用することで、地域の賑わい創出やクルーズの寄港などにつながると思う。

○事務局

ご意見を踏まえて修正させていただく。

◎若木委員

災害に関する部分は特に一般の方が見てわかりやすい言葉にしてもらいたい。

資料7の素案P58「重点目標5 インフラ分野のデジタル・トランスフォーメーション」の目指すべき姿に「新たな日常」とあるが、定義が曖昧であるので、もう少し具体的に記載したほうがいい。

○事務局

わかりやすさに留意して修正させていただく。

◎大島委員

オープンデータの活用を記載していただいているが、言葉だけだとなかなか進まないのが現状である。オープンデータの活用策やオープンデータを活用するメリット等をどう示すかが重要だが、踏み込んだ記載は難しい。そのため、なにか活用を進める方策を記載していただきたい。

◎三浦座長

オープンデータを活用した成功例などがあれば伝わりやすいと思う。

○事務局

頂いたご意見を踏まえて記載できる所について修正させていただく。

◎三浦座長

本日頂いた意見を踏まえて中国ブロックにおける社会資本整備重点計画（原案）を作成する予定であるが、今回の有識者会議の取りまとめについては事務局と座長に一任させて貰えればと思うがどうか。

(異議なし)  
責任を持って皆さんから頂いたご意見を反映させてもらえればと思う。

以上